



「北海道 防災・減災リレーシンポジウム2016」
プログラムC（札幌会場）の開催について（お知らせ）

開催概要：「新たなステージに対応した防災・減災」をテーマに、激甚化する北海道の自然災害リスクや災害情報のあり方について、最新の研究動向をお伝えします。パネルディスカッションでは、行政機関の方々の参加も得て、地域の特性や実情に即した防災・減災対策について考えます。

日程：2016年11月28日（月） 13:30～17:00（13:00開場）

場所：北海道大学工学部フロンティア応用科学研究棟 鈴木章ホール（札幌市北区北13条西8丁目）
JR札幌駅北口より徒歩20分、地下鉄南北線 北12条駅より徒歩12分

主催：北海道大学

参加対象・募集人数：一般市民・200名

参加費：無料

プログラム：特別講演「災害情報と避難行動」 田中 淳 東京大学総合防災情報研究センター長

基調講演1「積雪寒冷地の津波避難研究における地理空間情報の活用」

橋本雄一 北海道大学大学院文学研究科教授

2「気候変動期における土砂災害」

丸谷知己 北海道大学大学院農学研究院特任教授

パネルディスカッション：講演講師，北海道開発局，札幌管区気象台，北海道，札幌市

申し込み期間・方法：

事前の申込みは必要ありません。参加ご希望の方は、当日、直接会場にお越しください。

お問い合わせ先

北海道大学公共政策大学院 特任教授 高松 泰（たかまつ やすし）

TEL：011-706-3785 E-mail：takamatsu@hops.hokudai.ac.jp

北海道 11.8 帯広会場 11.16 函館会場 11.28 札幌会場 防災・減災リレーシンポジウム2016

— 新たなステージに対応した 防災・減災 —

広大な面積を有する北海道では、各地域における自然災害リスクや社会経済構造等がさまざまに異なり、
防災・減災の実践にあたっては、地域の実情に即した取組みが不可欠です。

本企画では、帯広・函館・札幌をリレー方式のシンポジウムで結び、行政機関や民間企業・市民の方々と共に、
新たなステージに向き合う北海道の防災・減災対策のあり方を考えます。

リレーシンポジウム 日時・会場

〈プログラムA 帯広会場〉

日時：2016年11月8日(火)

13:00開場 13:30開会

会場：帯広市民文化ホール 小ホール

帯広市西5条南11丁目48-2

JR帯広駅南口より 徒歩5分

■基調講演

「2016年8月豪雨による洪水被害について」

北海道大学大学院 工学研究院 准教授

山田 朋人

「2016年8月豪雨による土砂災害について」

北海道大学大学院 農学研究院 准教授

笠井 美青

「2016年8月豪雨による交通ネットワーク寸断の影響について」

北海道大学大学院 工学研究院 教授

田村 亨

■パネリスト／北海道開発局帯広開発建設部、札幌管区気象台

〈プログラムB 函館会場〉

日時：2016年11月16日(水)

13:00開場 13:30開会

会場：北海道大学函館キャンパス 講義棟大講義室

函館市港町3丁目1番1号

JR函館駅より函館バス(101、123系統)20分

■基調講演

「駒ヶ岳の火山活動について」

北海道大学大学院 理学研究院 教授

村上 亮

「火山地域の土砂災害」

北海道大学大学院 農学研究院 特任教授

小山内信智

「最近の地震動災害～法律で守られない被害～」

北海道大学大学院 工学研究院 教授

岡田 成幸

■パネリスト／北海道開発局函館開発建設部、北海道渡島総合振興局、森町

〈プログラムC 札幌会場〉

日時：2016年11月28日(月)

13:00開場 13:30開会

会場：北海道大学 鈴木章ホール

札幌市北区北13条西8丁目 大学院工学研究院

フロンティア応用科学研究棟2F

JR札幌駅北口より徒歩20分 地下鉄北12条駅より徒歩12分

■特別講演

「災害情報と避難行動」

東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター長・教授 田中 淳

■基調講演

「積雪寒冷地の津波避難研究における地理空間情報の活用」

北海道大学大学院 文学研究科 教授

橋本 雄一

「気候変動期における土砂災害」

北海道大学大学院 農学研究院 特任教授

丸谷 知己

■パネリスト／北海道開発局、札幌管区気象台、北海道、札幌市

